

南地域自治組織防災部会では、7月11日(土)午後1時30分から健康文化センター1階多目的室において、『避難所運営ルールブック』の作成を目的とした防災ワークショップを開催しました。

このワークショップは、今年1月31日、石川県珠洲市の住民及び職員を講師に招き、「～珠洲市の事例に学ぶ～あの時、避難所はどう動いた？」と題して開催した防災講演会の参加者などからメンバーを募り、講演内容を振り返りながら、避難所の開設・運営初期における課題や検討事項を深掘りするとともに、新たな気づきや提案を取りまとめることを目的に開催したものです。

ワークショップには、防災講演会参加者や防災部会会員など33名が参加し、避難所開設・運営初期において検討すべき事柄を「運営(場所)」「運営(人)」「ルール」「要支援」「物資」「その他」の6つの班に分かれて話し合いました。それぞれの

班では、活発な意見交換が行われ、多くの貴重な気づきや提案が寄せられました。

今後、防災部会では、今回いただいた提案をもとに『避難所運営ルールブック

(案)』を作成し、その内容に基づいた避難所開設・運営訓練などの実証を行う予定です。

来年3月には「避難所運営ルールブック」を完成させることを目指しています。関係者の皆様地域の皆様には引き続きご支援とご協力を、よろしくお願いいたします。



～ボランティアドライバー講習会が開催されました～

おでかけサポートカーは令和7年10月より大口町おでかけ支援事業となり、今では利用登録者数が100名を超えている状況です。利用者さんはじめ、ご家族の皆様安心して使って頂けるようドライバーのスキルアップのため、社会福祉協議会から講師の方をお招き



し、「ボランティアドライバー講習会」を行いました。利用者の皆さんに安全にご利用頂けるよう介助方法や注意事項を学びました。

**おでかけサポートカー
ボランティアドライバー
募集中！**



大口町 南地域自治組織 事務所

愛知県丹羽郡大口町秋田三丁目 397 番地 ☎/FAX 0587-75-1731

【開館】月～金 9:00～12:00、13:00～15:00

※(祝日、土・日は休館日です。)

→Email: minamitiiki@md.ccnw.ne.jp

○「南地域まちづくりかわら版」は、大口町ホームページで見ることができます。

大口町ホームページ <https://www.town.oguchi.lg.jp/4235.htm>



大口南小学校自転車教室

南地域自治組織防犯・交通安全部会は、江南警察署交通課及び南小学校の協力をいただき、6月30日(火)に南小学校4年生の児童の皆さんを対象にした「自転車教室」を開催しました。

当日は、南小学校体育館で40名の児童の皆さんが二つの班に分かれて江南警察署交通課の署員から、自転車に乗る際の注意点としてヘルメットの着用や自転車走行時のルールについて説明をいただきました。



- ヘルメットの着用については、
- ① 自動車に乗った時にシートベルトをするのと同じことで、自転車に乗る際には必ずヘルメットをかぶること
 - ② ヘルメットは額を覆うように眉毛の上くらいまで深くかぶり、ヘルメットの内側のベルトを頭にしっかりと固定すること
 - ③ ヘルメットのアゴひもは、指が2本入るくらいまでしっかりと締めること

などを学ぶとともに、自転車走行のルールとして「自転車の5つの左」についても学びました。

その後、児童の皆さんは、体育館内に設けられたコースを実際に自転車で走行し、自転車の正しい走行ルールを体験していました。



「自転車教室」は、児童の皆さんにとって、正しい自転車走行のルールについて学び、体験する機会となったようです。

当日は、岩倉市役所の職員2名が来訪され、「自転車教室」の運営などについて見学をされました。



自転車の5つの左

- ① 自転車には左側から乗る
- ② 自転車をスタートさせるときは、地面に左足を置き右足をペダルにかける
- ③ 車道では自動車と同じく左側通行をする
- ④ ブレーキを掛けるときは左ハンドルのブレーキ(後輪のブレーキ)を最初に使う
- ⑤ 降りるときは左側から降りる

豊田区 令和8年7月18日、天王祭「夏越の祓」が執り行われました

大口町堀尾跡に鎮座する八剱社(はっけんしゃ)において、夏の恒例行事である天王祭「夏越の祓(なごしのはらえ)」が開催されました。

境内の鳥居をくぐると、青々とした瑞々しい茅(かや)で編まれた大きな「茅の輪(ちのわ)」が参拝者をお迎えします。この輪をくぐることによって疫病や災厄から身を守ることができると言われており、訪れた氏子や地域の皆さまが丁寧に輪をくぐる姿が見られました。



また、会場では「人形(ひとがた)」の受付も行われました。

紙でできた人の形をした「人形」に自身の名前や年齢を記し、体を撫でたり息を吹きかけたりして罪穢れ(けが)を移します。これを神前に納めることで、お祓いの祈禱を受けることができます。

境内には厳かな雰囲気漂い氏子や地域の方々によって長年大切に守り継がれてきた伝統の祭りが、今年も変わらぬ姿で執り行われました。



大屋敷区納涼ふれあい夏祭り

8月1日の土曜日に大屋敷グラウンドゴルフコートにて「納涼ふれあい夏祭り」が開催されました。

当日は鈴木町長をはじめ多くの来賓の皆さまにお越しいただき、踊りの安藤豊淑五先生の皆様や豊田区盆踊り同好会の皆様と日本太鼓研究会の皆様の太鼓演奏に合わせて、区民のみなさんが盆踊りを楽しみました。

今年は定番の大口音頭等に加えて、新曲「イエローサブマリン音頭」も登場し、会場はさらに盛り上がりました。子どもたちが主催した千本引きゲームや輪投げのブースも大人気で、元気な歓声があちこちから聞こえ、終始にぎやかな雰囲気でした。

恒例の大抽選会では、櫓のまわりにたくさんの方が集まり、自分の番号が呼ばれるのをドキドキ

しながら待つ姿が見られました。特賞は1万8千円相当のグルメカタログということもあり、会場は大いに盛り上がりました。残念ながら外れてしまった方にも参加賞をお配りし、最後まで楽しい雰囲気のまま閉会しました。

子どもたちの夏の思い出づくりや、地域のにぎわいのきっかけになればと願い、今後も続けていきたいお祭りです。



南地域のたからもの vol.81 ～工場に囲まれた神社～

株式会社青山製作所本社・大口工場の北側に墓地があり、そこから南へ少し歩くと、工場の建屋に囲まれて小さなお社(やしろ)が建っています。これは天神社として、古くから大屋敷に遺る神社の一つです。

1822(文政5)年に成立した『尾張(おわり) 徇(じゅん) 行記(こうき)』によると、天神社は1727(享保12)年に勧請(かんじょう)したとあり、1841(天保12)年に描かれた



大屋敷村の絵図にも確認できます。1935(昭和10)年に刊行した『大口村誌』によると、天神社を三明神社の境内に遷したところ、悪疫(伝染病)が流行ったため、1893(明治26)年に元の場所へ戻したとあります。



みなみフリーカフェに正式名称

『カフェににこにこ』

居場所づくりとして6月より始まった「(仮)みなみフリーカフェ」、軌道にのってきたのを機に正式名称が決まりました。『カフェににこにこ』です。以後お見知りおきを。

来所者の方々とおしゃべりして、ににこにこ笑顔で帰っていただきたいとの願いを込めて名付けました。オープンは9時30分です。



みんなで音楽体操♪

時間内なら、来たい時間に来て帰りたい時間に帰れます。11時からの『お楽しみタイム♪』では、毎週趣向をこらして、昭和歌謡をうたったり 脳トレをやったり、椅子に座ったまま音楽体操などを行っています。参加は自由です。

お友達を誘って『カフェににこにこ』においでください。お待ちしております。

毎週火曜日：9時30分～11時30分
⇒南地域自治組織事務所内(ABCカフェ南側)

無料♪

